

地域の皆様と共に永く住み続けられる街づくりを進める
「ちどり福祉会」の最新情報



社会福祉法人
ちどり福祉会広報部

福岡市東区八田 1-4-15
TEL: 092-691-5089
<http://www.chidorifukushi.jp>

いきいき

夏号

2019年 8月発行

題字 いきいき八田デイサービス利用者様



小規模多機能ホームのどか 八周年を迎えて

小規模多機能ホームのどか 山下裕美

二〇一一年五月に『小規模多機能ホームのどか』を開設し、あっという間に八年が経過しました。

開設時には、東区内にほかに一件しかなかった「小規模多機能型居宅介護」事業所も、現在では十二事業所と増えています。

「小規模多機能型居宅介護」とは、利用者の「介護が必要になっても自宅での生活を続けたい」という願いに、「通い・訪問・宿泊」を組み合わせて対応するサービスです。顔なじみの関係性を生かして、困りごとを一緒に考え、利用者・ご家族の望む暮らしを支えています。

一日一日を大切に、笑顔あふれる日々を送れるように、いろんなところに出かけたり、ご家族と一緒に楽しめる行事の企画をすすめています。その一つが『周年祭』で、今年で八回目になりました。

利用者様とご家族と一緒に楽しめる時間を共有することで、お互いを知り、安心感につながっているようです。これからも日々を大切にしながら、皆さんと一緒に「のどか」な暮らしを支援していきたいと思えます。

事業所・職場紹介

法人本部 いきいき八田事務室

いきいき八田の玄関入ってすぐ左に事務室があります。本部で経理や総務を担当する事務職員やいきいき八田の施設長、生活相談員などがこちらで書類仕事に勤んでいます。ちどり福祉会全体の経営と運営の拠点です。電話や来訪者の第一の窓口となりますので接遇には十分に配慮して参ります。どうぞお気軽にお声かけください。



2018年度苦情について

苦情の件数は14件（前年比±0）でした。2018年度はサービスの質に対する苦情を一番多く頂き、入浴での洗い方、説明したつもりが相手の方にきちんと伝わっていなかったなど最終的な確認不足があり、職員本位で終えないよう再確認をしました。不快な思いをされたことに謝罪すること、感情的な訴えでなくても苦情であると受け止めることを周知していきたいと思ひます。

（施設長 渡部 美紀）

意見・苦情	施設										合計	
	八田事務室	八田特養	八田シヨート	八田デイサービス	ゆとり	箱崎特養	箱崎シヨート	のどか	箱崎デイサービス	いきいきハウス		包括支援センター
内容説明	説明・情報不足	1	2									3
	人員・運営・設備基準 (事務関係含む)			1								1
	サービスの質			1		1	2		1			5
	職員の態度		1									1
	被害・損害								1			1
	権利侵害		1									1
車関係(運転業務・事故)			1		1						2	
総数	1	2	5	0	1	1	2	0	2	0	0	14

苦情解決委員会 委員会は法人全体の苦情について、第三者委員の方にも参加して頂き、3カ月に1回開催しています。

家族懇談会 ～ソフト食を試食～

特別養護老人ホームいきいき箱崎
統括部長 門司 純

去る三月二十一日に『特別養護老人ホームいきいき箱崎』と『小規模多機能ホームのどか』のご家族を対象として家族懇談会を開催しました。毎年、春と秋の年二回行っています。

今回は、食事の提供を業務委託している『富士フードサービス株式会社』の方より、箱崎拠点での食事について説明していただいた後、当日の昼食で提供した食事を実際に試食していただきました。少量ではありますが、常食とソフト食の二種類をお出し

し、見た目や味、食感などを体感していただきました。ソフト食を見る機会はあっても食べる機会はなかなかなかったようです。「あまりおいしく感じない」「ちゃんと魚の味がした」等、感想も様々でした。また、「いつも美味しい食事、それぞれの方に合った食事を提供していただいていたで大変ありがたい」というお言葉もいただきました。

入所者と共にご家族も変わっていくため、定期的にこのような機会を設けることで施設への理解を深めていければと思います。

認知症学習会

～どのように重症化していくか～



「みさき病院」院長の田中先生

ちどり福祉会では年に四回程度、認知症学習会を開催しています。講師は大牟田市にある親仁会「みさき病院」院長の田中先生です。

今回はFAST（アルツハイマー型認知症の重症度を評価するためのツール）をテーマとし、アルツハイマー型認知症の方がどのような経過をたどって重症化していくのかをわかりやすく教えていただきました。

毎回わかりやすい
講義です



次回開催のご案内

8月29日(木) 18:30～

「認知症の薬について」

毎回、法人外の方の参加もありますので、ご参加をお待ちしております。

参加者の声

認知症学習会に参加して

アルツハイマー型認知症の方の物語と言われているFASTを学ぶだけでなくおおよその認知症の方がたどる経過がよくわかりました。また、CDテストや指まねテストなど、物忘れが認知症によるものなのか判断できる簡単なテストも教えて頂き、様々な場面で活用できそうです。

ケアプランあかり 主任ケアマネジャー桜井さん

ふれあい相談員を
受け入れていきます

ちどり福祉会の介護サービス事業所では、福岡市ふれあい相談員派遣事業の受け入れを行っています。

ふれあい相談員とは、福岡市の研修を修了した相談員が月に二回、四ヶ月間同じ施設を訪問し、利用者の話を聴いたり、施設の行事に参加したり、施設長や職員と意見交換をしたりして、施設等における介護サービスの質の改善・向上を促すものです。

ふれあい相談員には、訪問を重ねていただく中でさまざまな意見を頂き、その都度サービスの改善を図ってきています。今後受け入れを継続し、第三者の視点で介護サービスのあり方についてご意見を頂戴していきたいと思ひます。



長寿の条件が揃った女性

才所トモエさんのご家族 才所憲二さん

私の母トモエは九十七歳、要介護四で認知症も進行し、現在は認知症対応型デイサービス「ゆとり」で週四日お世話になっています。

施設通いを嫌っていた母ですが、今では「ゆとり」の時間を楽しんでいきます。職員の皆様が優しく声掛けしてくれたり、大好きな歌を存分に唄わせてくれるからと感謝しています。

母は明るくおおらかな性格で、割り切りも早くクヨクヨ悩まない、まさに長寿の条件が揃っている女性です。そして日本酒好き・宴会大好き人間でした。十年前のことです。米寿の祝賀会で母は冷酒をコップ四杯飲み、得意の民謡を唄っていました。そんな時母の前で私と兄が茶漬けを食べ始めたならもう茶漬けなんか食べて、アンタラ飲みようが足らん！と叱りつけられました。本当に楽しい思い出でした。

最近では認知症の影響で母と一緒に思い出話ができません残念です。頑張って長生きしてくれている大好きな母には、これからの瞬間・瞬間を楽しく美味しく美味しく心地よく過ごしてくれることを心より願うばかりです。

健康の豆知識 熱中症予防のために

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋外だけでなく室内で何もしていないときでも発症します。熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけましょう。



① 暑さを避ける

- 室内では …………… 扇風機やエアコンを使用、すだれ・打ち水を利用
- 屋外では …………… 日傘や帽子を着用、日陰を利用、こまめな休憩
- 体内に熱をためない …… 通気性のよい、吸湿性・速乾性のある衣服を着用

② こまめに水分を補給する

- のどの渇きを感じなくても、こまめに水分を補給しましょう
- 汗をたくさんかく時は、経口補水液など、塩分等も含んで補給しましょう